

科目名	建築構造システム	英語科目名	Building Construction System
開講年度・学期	平成27年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科・2年
授業形態	講義	必修or選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位 30h
担当教員	大島隆一	居室(もしくは所属)	建築棟 2階デザインスタジオ内
電話	内線 844	E-mail	o-shima@小山高専ドメイン
授業の到達目標		授業到達目標との対応	
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)
1.建築部材等の名称を具体的に示せる。		③	
2.各種構造形式の性質や特徴等について具体的に示せる。		③	
3.建物の仕組み等について具体的に説明できる。		③	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
目標1～3について、中間試験および定期試験、必要に応じて出題した課題により総合的に評価し、60%以上の得点で達成とする。			
評価方法			
中間試験および定期試験の平均点を 100%とする。なお、必要に応じて出題した課題がある場合はそれを 20%とし、試験関連の平均点を 80%とする。			
授業内容			
01.ガイダンス(建築学体系、シラバス、試験、教科書)、建築物とは、建物構成、RC 造の出来るまでビデオ			
02.鉄筋コンクリート構造:RC 造の主材料、特徴、形式			
03.鉄筋コンクリート構造:RC 造のラーメン構造、壁式構造			
04.鉄筋コンクリート構造:RC 造の壁式、基礎/鉄骨構造:S 造の出来るまでビデオ			
05.鉄骨構造:S 造の特徴、形式、骨組			
06.鉄骨構造:S 造の鋼材、ボルト、溶接、柱脚、その他			
07.木質構造:W 造の特徴			
08.<中間試験(RC 造と S 造)>			
09.試験回答説明、木質構造:W 造の出来るまでビデオ			
10.木質構造:W 造の形式			
11.木質構造:W 造の基礎、床組			
12.木質構造:W 造の軸組、壁・耐力壁、小屋組、屋根			
13.木質構造:W 造の接合・継手・仕口、接合金物			
14.その他の構造:混構造、PCa 工法、平板構造、組積造・補強コンクリートブロック構造、SRC/CFT 造			
15.その他の構造:PC 構造、チューブ構造、メガストラクチャ、トラス・スペースフレーム、吊り構造・張弦梁構造、アーチ・ヴォールト構造、シェル構造、折板構造、膜構造			
<定期試験(W 造とその他構造)>			
試験解答説明			
キーワード	建築用語、各種構造		
教科書	「図解事典建築の仕組み」・彰国社、「建築構造用教材」・日本建築学会編		
参考書	「初めての建築一般構造」・学芸出版社		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築概論、フロンティア技術入門		
現学年の関連科目	創造演習 II		
次年度以降の関連科目	建築材料		
連絡事項			
建築部材の名称や専門用語をそのしくみ・形状をイメージしながら学ぶ。 各部材の構成を立体的にイメージできるようにトレーニングする。 普段から建築を見て、そのしくみをイメージする、また把握する。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 4 日		